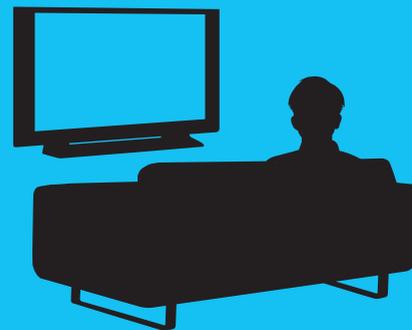


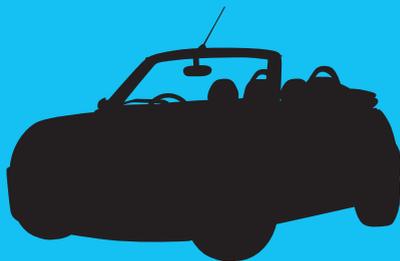
# 第62期 株主通信

2006年4月1日～2007年3月31日



暮らしの中に **RIVER** があります

<http://www.river-ele.co.jp/>



リバーエレテック株式会社

RIVER ELETEC CORPORATION

証券コード 6666

**通期業績、大幅増収および大幅増益を達成しました**  
連結売上高9,248百万円（前期比114.9%）、連結経常利益890百万円（前期比186.9%）

業界最小サイズ

**水晶振動子「FCX-07」を開発しました**

**中国の上海に駐在員事務所を開設しました**

**単元株式数を1,000株から100株に変更しました**

## CONTENTS

株主の皆様へ	2	水晶デバイスとは	8
リバーグループ中期経営計画	3	5年間の業績推移（連結）	9
商品戦略	4	連結財務諸表	11
販売戦略	5	財務諸表	13
グループ戦略	6	会社概要・株式の状況	14
連結業績の推移	7		



代表取締役社長

**若尾 富士男**

## 変革、創造そして飛躍へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。第62期（2006年4月～2007年3月）の事業報告をするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

リバーグループは、「顧客の満足と信頼の獲得」、「独創的発想による価値の創造」、「事業改革による持続的な成長」を戦略の柱とした3ヵ年中期経営計画を鋭意推進中ではありますが、その第2期目にあたる当期の業績につきましては、年度目標を達成することができました。

私は、リバーグループのすべての人たちに、願っていることがあります。それは「絶えず発想し、絶えず前に進め」ということです。

前に進めば必ず変化が生じます。変化のないところからは何も生まれません。前に進めば、つまずくこともあります。しかしそこには大きな可能性があります。

リバーグループが絶えず変革し、成長し続けるためには「創造力」を持ち、実行できる企業集団でなければなりません。

私たちは、常識にとらわれない発想で、市場が潜在的に求めている技術、新製品、サービスを具現化する。そんなイノベーションを持続、進化させ、成長を続けるリバーグループを創りあげていきます。

株主の皆様には、今後ともご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## リバーグループ中期経営計画

リバーグループは、2008年3月期を最終年度とする3ヵ年中期経営計画に基づいた「高付加価値企業」の実現を目指しています。

中期経営計画では、「源流・創価・革新」という経営理念のもとに「顧客の満足と信頼の獲得」、「独創的発想による価値の創造」、「事業改革による持続的な成長」を基本戦略の柱として掲げており、これらを確実に実行していくことが経営の最重要課題であると考えています。

### ■ 経営の基本方針および戦略 ■



### ■ 定量目標 ■



### 年度実績



「どこよりも小さく、どこまでも小さく」そしてどこよりも早く！

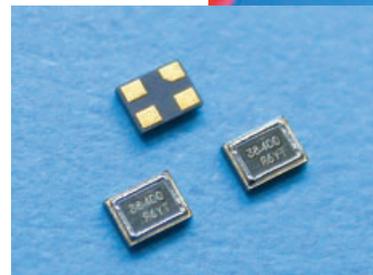
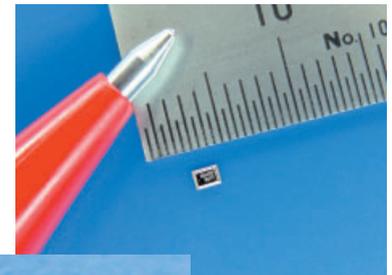
リバーエレクトックの歴史は、小型化への挑戦の歴史です。また、創業以来、培ってきたこのDNAがリバーエレクトックの成長の原動力でもあります。

2007年1月、超小型水晶振動子FCX-07を開発しました。

これは、長さ1.6ミリ、幅1.2ミリ、高さ0.4ミリの業界最小クラスの水晶振動子であり、当社最小サイズであったFCX-06に比べ、容積で約46%の削減に成功しました。

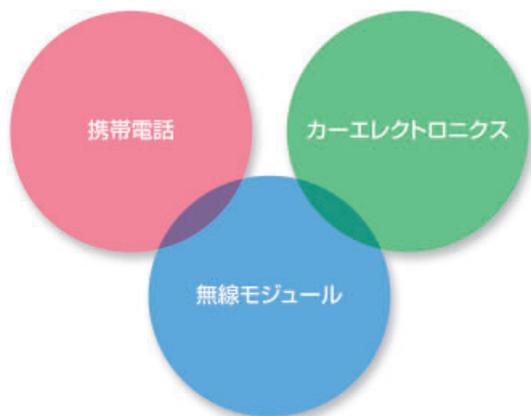
今後も成長が期待される携帯電話やゲーム機器といった小型機器市場は、その多機能化、薄型化、軽量化を実現するために、電子部品の軽薄短小化を必要としています。また医療分野でも、カプセル内視鏡に超小型水晶振動子が使われるなど、小型化の裾野は広がりを見せています。

リバーエレクトックは、顧客のニーズにより早く応えるために、最先端技術を駆使した高性能、高品質製品を先行開発し続けるリーディングカンパニーを目指します。

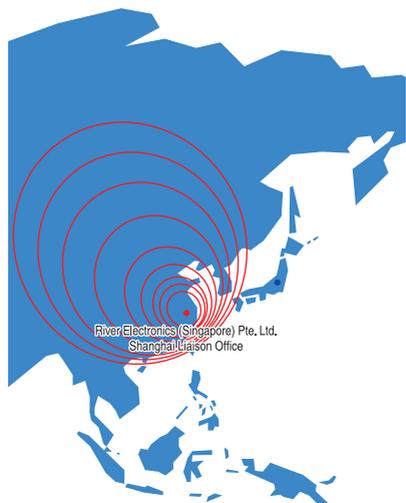


業界最小クラスの  
水晶振動子FCX-07  
(1.6×1.2×0.4mm)

### 小型化の要求が高い成長市場へFocus & Deep（絞込みと深耕） マーケティング強化によりアジアを中心に海外展開を加速



#### 最重要ターゲット



リバーエレテックは、前期に引き続き、「携帯電話」、「無線モジュール」、「カーエレクトロニクス」といった成長市場を最重要ターゲットとして拡販に努めていきます。

絶えずマーケットは変化をしています。その流れを的確に捉えるために、マーケティング力を強化し、提案型技術営業を展開することにより、ビジネスチャンスを逃さない販売体制を創りあげていきます。

2007年3月、中国の上海に販売子会社である River Electronics (Singapore) Pte. Ltd.の駐在員事務所を開設しました。

これまで、当社が強みとする小型水晶製品市場は、日本国内での取引が主流でした。しかし、最近では、中国や韓国などのアジア地域での小型化ニーズが高まりつつあり、海外展開がリバーエレテックの成長の大きな課題であると同時に、大きなビジネスチャンスになっています。

リバーエレテックは、グループ会社、時には商社の有効活用によりグローバルなビジネス網を構築し、継続的な事業拡大を目指します。

### 「価値」を創りこむ意識をグループ全員が共有し、 リバーブランドの強化を図る

今後、競争が激化していくであろうこの業界において、収益性の向上を図るため、「価値」を創りこむ施策を推進していきます。

現状に満足することなく、常に問題意識を持ち、改善活動に積極的に取り組んでいきます。

また、スピードを意識した活動を展開し、1人当たりの生産性を高めていきます。



これは、製造部門や販売部門だけでなく、管理部門を含めたグループ全員が取り組まなければならない課題であると考えています。

リバーグループは、それぞれの個の「価値」をグループに共鳴させ、より大きな「価値」を創造し、広く社会に貢献していきます。



## 連結業績の推移

当期におけるわが国経済は、好調な企業収益に支えられ、設備投資が増加し、個人消費も増加傾向にあるなど、緩やかな景気拡大基調が継続しております。

当社グループが主に事業を展開している水晶デバイス業界は、携帯電話、ゲーム機器向けなどが堅調に推移し、生産数量、金額ともに拡大傾向にありました。

このような環境のなかで、当社グループは、2008年3月期を最終年度とする3カ年中期経営計画に基づき、「高付加価値企業」の実現を目指して「顧客の満足と信頼の獲得」、「独創的発想による価値の創造」、「事業改革による持続的な成長」の3つの基本戦略に取り組みました。

その結果、当社グループの当期の売上高は92億4千8百万円（前期比14.9%増）、営業利益は8億6千2百万円（同132.9%増）、経常利益は8億9千万円（同86.9%増）、当期純利益は4億9千8百万円（同191.3%増）となり、大幅な増収増益となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

水晶製品事業につきましては、成長分野である無線モジュールおよび携帯電話市場に焦点を絞り込み、提案型技術営業力を強化した結果、超小型水晶振動子の売上高が大幅に増加いたしました。

また、パソコンおよび周辺機器、カーエレクトロニクス向けの受注が好調であった結果、水晶製品事業の売上高は85億3千2百万円（前期比15.8%増）となりました。

抵抗器事業につきましては、海外市場のみで事業展開しております。製品用途としては、主としてAV機器や電源向けに使われております。

抵抗器事業の売上高は、厳しい価格競争下ではありましたが、AV機器向けの受注が好調に推移した結果、抵抗器事業の売上高は4億1千9百万円（前期比9.9%増）となりました。

インダクタ事業につきましては、抵抗器事業と同様、海外を中心とした事業展開を行っており、製品用途としては、主としてAV機器や照明機器などに使われております。

インダクタ事業の売上高は、ブラウン管テレビ向けの受注が減少したものの、照明機器向けの受注が好調であった結果、インダクタ事業の売上高は1億9千8百万円（前期比0.7%増）となりました。

その他事業につきましては、複合回路部品列、開閉器などの製造および販売事業を展開しております。

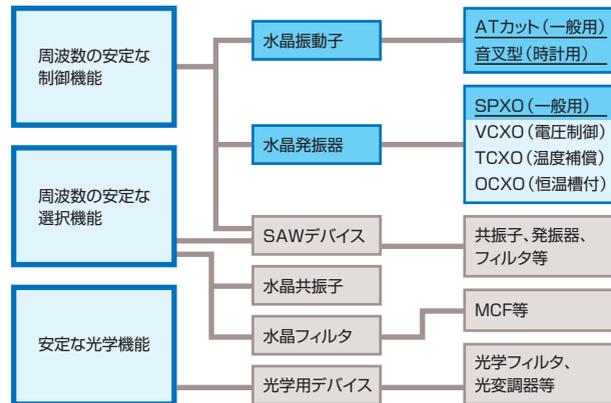
その他事業の売上高は、9千7百万円（前期比1.7%減）となりました。

## 水晶デバイスとは

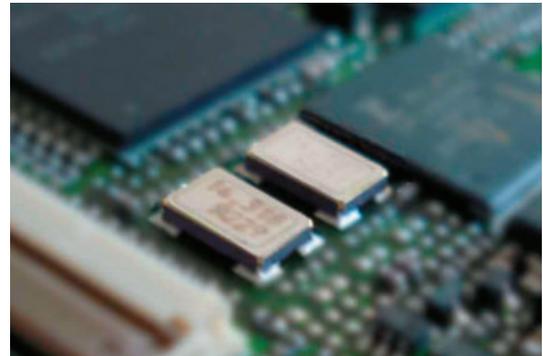
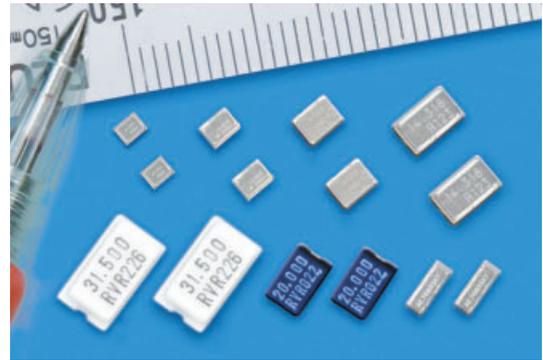
水晶デバイスとは、下図にあるものをいい、リバーエレクトックが主力としている水晶振動子は、安定した周波数を維持する役割や規則正しい基準信号を作り出す役割を担った周波数の制御デバイスとして活用されています。

リバーエレクトックの水晶デバイスは、携帯電話、無線モジュール、カーエレクトロニクスなどに多く使われています。目には見えませんが、暮らしの中にRIVERはあつたのです。

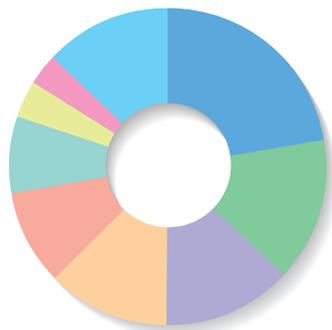
### ■水晶デバイスの種類



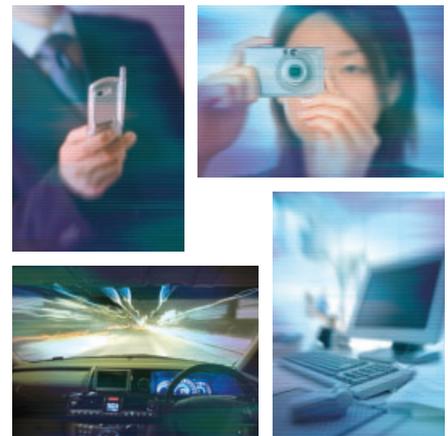
■は当社グループで製造・販売している水晶デバイス



### 売上高構成比 (2007年3月期)



無線モジュール	22.3%
PC・周辺機器	14.6%
デジタルカメラ	13.2%
カーエレクトロニクス	12.5%
携帯電話	9.7%
フラットTV	7.8%
AVチューナー	3.8%
デジタルビデオカメラ	3.2%
その他	12.9%



## 5年間の業績推移（連結）

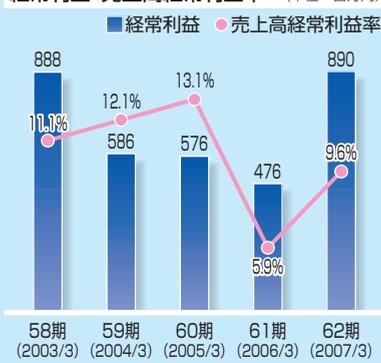
（単位：千円）

3月31日に終了した年度	2003	2004	2005	2006	2007
売上高	7,981,911	7,140,353	7,525,470	8,045,511	9,248,214
売上総利益	2,614,983	2,139,233	2,060,889	1,995,419	2,623,032
売上総利益率	32.8%	30.0%	27.4%	24.8%	28.4%
営業利益	929,875	587,550	523,234	370,285	862,253
営業利益率	11.7%	8.2%	7.0%	4.6%	9.3%
経常利益	888,249	586,306	576,226	476,294	890,395
経常利益率	11.1%	8.2%	7.7%	5.9%	9.6%
当期純利益	522,264	306,930	329,964	171,210	498,750
当期純利益率	6.5%	4.3%	4.4%	2.1%	5.4%
設備投資	466,001	684,242	1,411,706	1,492,096	1,261,372
減価償却費	790,209	761,039	756,041	910,263	986,131
研究開発費	120,683	117,259	121,092	119,065	251,905
<b>年度末</b>					
総資産	10,313,091	9,866,088	11,534,093	11,941,319	13,059,087
自己資本	5,887,699	6,033,482	7,450,775	7,580,828	7,980,622
有利子負債	2,295,099	1,587,142	1,480,692	1,884,257	1,777,105
従業員数（人）	428	385	373	375	379
（外、契約社員、派遣社員等）	（385）	（444）	（457）	（466）	（470）

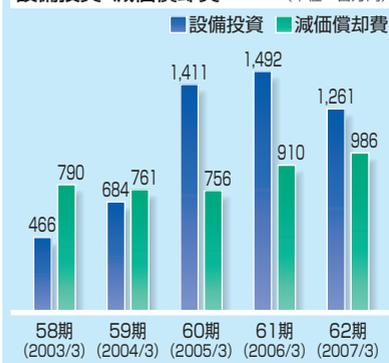
売上高（単位：百万円）



経常利益・売上高経常利益率（単位：百万円）



設備投資・減価償却費（単位：百万円）



(単位：千円)

3月31日に終了した年度	2003	2004	2005	2006	2007
セグメント別売上高					
水晶製品	5,352,936	5,236,075	5,976,169	7,367,733	8,532,632
構成比	67.1%	73.3%	79.4%	91.6%	92.3%
抵抗器	862,007	564,860	471,663	381,332	419,355
構成比	10.8%	7.9%	6.3%	4.7%	4.5%
インダクタ	484,327	307,163	233,191	196,953	198,520
構成比	6.1%	4.3%	3.1%	2.5%	2.1%
リチウムコイン電池	1,160,385	918,266	738,244	—	—
構成比	14.5%	12.9%	9.8%	—	—
その他	122,255	113,987	106,201	99,491	97,705
構成比	1.5%	1.6%	1.4%	1.2%	1.1%

## キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フロー	1,536,846	644,697	1,037,610	937,366	1,864,955
投資活動によるキャッシュ・フロー	△192,067	△367,138	△1,799,403	△1,334,102	△1,433,073
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,205,053	△826,101	1,006,935	264,658	△218,792
現金及び現金同等物の期末残高	1,577,408	984,009	1,225,326	1,142,356	1,382,129

(単位：円)

## 1株当たり指標

1株当たり当期純利益	80.17	46.72	45.03	20.50	66.57
1株当たり純資産	946.59	971.45	992.06	1,009.55	1,065.28
1株当たり配当金	15.00	15.00	18.00	15.00	15.00

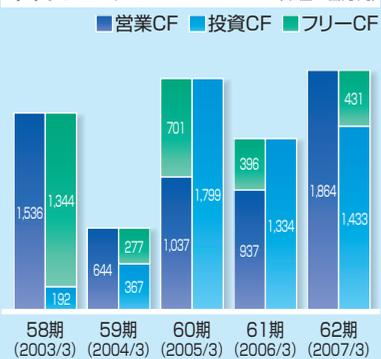
## 総資産・自己資本

(単位：百万円)



## キャッシュ・フロー

(単位：百万円)



## 1株当たり当期純利益

(単位：円)



## 連結財務諸表

### ● 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別	当期 (2007年3月31日現在)	前期 (2006年3月31日現在)	科目	期別	当期 (2007年3月31日現在)	前期 (2006年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>				<b>(負債の部)</b>			
<b>流動資産</b>		<b>6,514,221</b>	<b>5,537,651</b>	<b>流動負債</b>		<b>3,824,131</b>	<b>3,015,214</b>
現金及び預金		2,517,374	1,742,589	支払手形及び買掛金		1,112,871	993,191
受取手形及び売掛金		2,867,796	2,608,239	短期借入金		700,228	617,583
たな卸資産		810,230	905,657	1年以内返済予定長期債務		378,119	454,797
繰延税金資産		251,124	154,442	未払法人税等		366,275	77,228
その他		71,393	129,519	賞与引当金		252,330	210,696
貸倒引当金		△3,698	△2,797	役員賞与引当金		17,575	—
<b>固定資産</b>		<b>6,544,865</b>	<b>6,398,426</b>	設備関係支払手形		452,733	136,641
有形固定資産		6,053,308	5,954,921	その他		543,998	525,076
建物及び構築物		1,469,467	1,433,959	<b>固定負債</b>		<b>917,677</b>	<b>1,031,127</b>
機械装置及び運搬具		3,587,406	3,509,451	長期債務		698,758	811,877
工具、器具及び備品		183,573	115,815	繰延税金負債		15,905	49,508
土地		544,034	581,056	退職給付引当金		76,664	63,242
建設仮勘定		268,826	314,638	役員退職慰労引当金		126,350	106,500
無形固定資産		38,977	24,076	<b>負債合計</b>		<b>4,741,808</b>	<b>4,046,342</b>
投資その他の資産		452,579	419,428	<b>(少数株主持分)</b>			
投資有価証券		227,435	219,952	少数株主持分		—	314,148
繰延税金資産		28,789	22,219	<b>(純資産の部 (資本の部))</b>			
その他		196,355	177,256	<b>株主資本</b>		<b>8,048,812</b>	<b>7,680,121</b>
<b>繰延資産</b>		<b>—</b>	<b>5,241</b>	資本金		1,070,520	1,070,520
<b>資産合計</b>		<b>13,059,087</b>	<b>11,941,319</b>	資本剰余金		957,810	957,810
				利益剰余金		6,021,442	5,652,666
				自己株式		△959	△875
				<b>評価・換算差額等</b>		<b>△68,189</b>	<b>△99,292</b>
				その他有価証券評価差額金		54,907	54,626
				為替換算調整勘定		△123,097	△153,918
				<b>少数株主持分</b>		<b>336,655</b>	<b>—</b>
				<b>純資産合計 (資本合計)</b>		<b>8,317,278</b>	<b>7,580,828</b>
				<b>負債・純資産 (資本) 合計</b>		<b>13,059,087</b>	<b>11,941,319</b>

## ● 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	
	当期 (2006年4月1日から 2007年3月31日まで)	前期 (2005年4月1日から 2006年3月31日まで)
売上高	9,248,214	8,045,511
売上原価	6,625,181	6,050,092
<b>売上総利益</b>	<b>2,623,032</b>	<b>1,995,419</b>
販売費及び一般管理費	1,760,778	1,625,133
<b>営業利益</b>	<b>862,253</b>	<b>370,285</b>
営業外収益	85,396	142,584
受取利息	28,057	17,171
受取配当金	1,082	1,043
為替差益	21,494	8,691
材料屑売却益	21,673	100,752
その他	13,089	14,925
営業外費用	57,255	36,575
支払利息	39,164	28,689
新株発行費償却	5,241	5,241
その他	12,849	2,644
<b>経常利益</b>	<b>890,395</b>	<b>476,294</b>
特別利益	34,032	1,923
固定資産売却益	14,538	1,923
保険受入益	19,493	—
特別損失	110,679	148,099
固定資産除却損	88,492	89,956
固定資産売却損	1,820	—
減損損失	20,366	56,214
出資金評価損	—	1,929
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>813,748</b>	<b>330,117</b>
法人税、住民税及び事業税	449,534	191,688
法人税等調整額	△137,632	△30,764
少数株主利益(損失：△)	3,095	△2,017
<b>当期純利益</b>	<b>498,750</b>	<b>171,210</b>

## ● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	期別	
	当期 (2006年4月1日から 2007年3月31日まで)	前期 (2005年4月1日から 2006年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,864,955	937,366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,433,073	△1,334,102
財務活動によるキャッシュ・フロー	△218,792	264,658
現金及び現金同等物に係る換算差額	26,683	49,106
現金及び現金同等物の増減額	239,772	△82,970
現金及び現金同等物の期首残高	1,142,356	1,225,326
現金及び現金同等物の期末残高	1,382,129	1,142,356

## 財務諸表

### ● 貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別	当期	前期
		(2007年3月31日現在)	(2006年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			
流動資産		4,350,697	3,731,460
固定資産		5,059,105	5,046,828
有形固定資産		4,153,194	4,219,532
無形固定資産		34,015	19,044
投資その他の資産		871,895	808,250
繰延資産		—	5,241
<b>資産合計</b>		<b>9,409,803</b>	<b>8,783,530</b>
<b>(負債の部)</b>			
流動負債		1,625,054	1,182,777
固定負債		791,994	895,229
<b>負債合計</b>		<b>2,417,049</b>	<b>2,078,007</b>
<b>(純資産の部(資本の部))</b>			
<b>株主資本</b>		<b>6,937,846</b>	<b>6,650,896</b>
資本金		1,070,520	1,070,520
資本剰余金		957,810	957,810
利益剰余金		4,910,476	4,623,442
自己株式		△959	△875
<b>評価・換算差額等</b>		<b>54,907</b>	<b>54,626</b>
その他有価証券評価差額金		54,907	54,626
<b>純資産合計(資本合計)</b>		<b>6,992,754</b>	<b>6,705,523</b>
<b>負債・純資産(資本)合計</b>		<b>9,409,803</b>	<b>8,783,530</b>

### ● 損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	当期	前期
		(2006年4月1日から 2007年3月31日まで)	(2005年4月1日から 2006年3月31日まで)
売上高		8,403,677	7,385,472
売上原価		6,268,954	5,774,629
<b>売上総利益</b>		<b>2,134,722</b>	<b>1,610,843</b>
販売費及び一般管理費		1,411,502	1,296,277
<b>営業利益</b>		<b>723,220</b>	<b>314,565</b>
営業外収益		91,897	43,242
受取利息		1,641	121
受取配当金		65,432	24,451
原材料等売却益		1,212	999
為替差益		19,504	11,859
その他		4,106	5,811
営業外費用		43,967	34,041
支払利息		37,565	26,711
社債利息		160	239
新株発行費償却		5,241	5,241
その他		1,000	1,848
<b>経常利益</b>		<b>771,149</b>	<b>323,767</b>
特別利益		11,566	11
固定資産売却益		11,566	11
特別損失		84,596	51,755
固定資産除却損		84,596	51,755
<b>税引前当期純利益</b>		<b>698,120</b>	<b>272,023</b>
法人税、住民税及び事業税		352,717	121,193
法人税等調整額		△71,605	△4,666
<b>当期純利益</b>		<b>417,008</b>	<b>155,496</b>

## 会社概要 (2007年6月28日現在)

商号	リバーエレテック株式会社 (RIVER ELETEC CORPORATION)
設立	1951年3月9日
資本金	1,070,520,150円
主な事業内容	水晶振動子、水晶発振器等の電子部品の製造および販売
従業員数	115名(6名)(2007年3月31日現在) ※従業員数は、就業人員数であり、パートタイマー、契約社員等は( )外数で記載しております。
会計監査人	新日本監査法人 公認会計士 横山良和
役員	代表取締役社長 若尾 富士男 専務取締役 岩下 功 取締役 浅川 芳孝 取締役 三枝 康孝 取締役 大塩 久男 取締役 三浦 理 常勤監査役 江上 年秋 社外監査役 中津山 準一 社外監査役 小林 栢弘

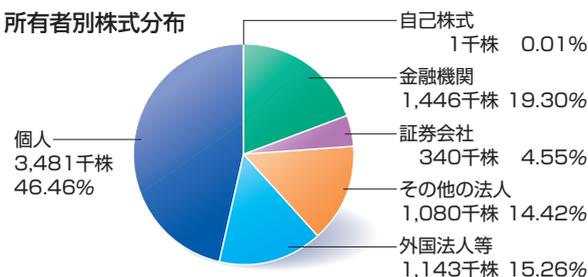
## 株式の状況 (2007年3月31日現在)

発行可能株式総数	21,600,000株
発行済株式の総数	7,491,594株 (自己株式1,058株を除く)
株主数	1,460名 (前期末比720名増)

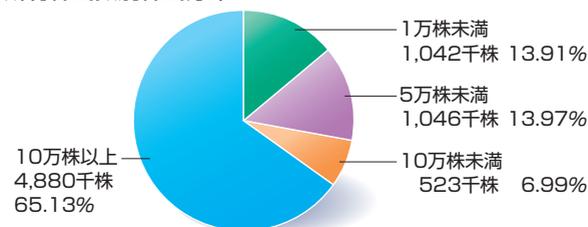
### 大株主

株主名	持株数	持株比率
若光株式会社	873,368株	11.66%
エイチエスピーシー バンクピーエルシー アカウント アトランティス ジャパン グロス ファンド	332,000	4.43
株式会社山梨中央銀行	268,000	3.58
ジエーピーモルガンチエース シーアールイーエフ ジヤステック レンディング アカウント	254,700	3.40
野村證券株式会社	225,800	3.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	185,600	2.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	180,500	2.41
持原 和 則	180,000	2.40
竹田 和 平	170,000	2.27
持原 ひろ美	168,244	2.25

### 所有者別株式分布



### 所有株式数別株式分布



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当 9月30日 そのほか必要があるときには、あらかじめ公告して臨時に定めることがあります。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
同取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
公告の方法	電子公告により行います。(当社ホームページに掲載 <a href="http://www.river-ele.co.jp/">http://www.river-ele.co.jp/</a> ) ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所
証券・銘柄コード	6666

## 株主事務のお問い合わせ

株券の名義書換、住所変更、配当金のお受け取りなどのお手続きは株主名義管理人である住友信託銀行にて承ります。

住所変更等用紙のご請求 ☎0120-175-417・オペレーター対応 (平日9:00-17:00)  
※上記時間帯以外は自動音声対応です。オペレーター対応が込み合っている場合、自動音声となることがございます。

その他のご照会 ☎0120-176-417・オペレーター対応 (平日9:00-17:00)

インターネットによるご請求先 <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>